

## 環境経済論 2009：経済学科（泉留維） 第一回

### ○授業計画

#### <前期>

- 4月13日：イントロダクション（授業計画および評価についての説明等）
- 4月20日：環境経済学の枠組：経済学は自然をどう捉えてきたのか（テ3章）
- 4月27日：環境問題の原点としての公害（1）足尾銅山煙害・鉍毒事件（テ1章）
- 5月11日：環境問題の原点としての公害（2）水俣病と産業型公害（テ1章）
- 5月18日：環境問題の原点としての公害（3）大気汚染と都市・生活型公害（テ1章）
- 5月25日：環境問題の原点としての公害（4）食品公害：カネミ油症と森永ヒ素ミルク事件（テ1章）
- 6月1日：エネルギーと環境（1）再生可能エネルギーについて（テ7章）
- 6月8日：エネルギーと環境（2）原子力発電所問題（テ7,8章）
- 6月15日：ゴミの経済学（1）ゴミとは何か：物質収支とバズ（テ8章）
- 6月22日：ゴミの経済学（2）一般廃棄物と3R（テ8章）
- 6月29日：ゴミの経済学（3）産業廃棄物と不法投棄問題（テ8章）
- 7月6日：ゴミの経済学（4）進行する土壌汚染と「越境する廃棄物」（テ8章）
- 7月13日：未定

#### <後期>

- 9月28日：前期授業内容の復習（小テスト扱い）
- 10月5日：海と生命の循環
- 10月12日：淡水の現状と問題
- 10月19日：自然開発と公共事業（テ6章）
- 10月26日：環境の経済的評価（1）貨幣評価（テ5章）
- 11月2日：環境の経済的評価（2）非貨幣評価（テ5章）
- 11月9日：環境政策と経済的手段（1）環境税（テ4章）
- 11月16日：環境政策と経済的手段（2）排出量取引（テ4章）
- 11月23日：環境政策と経済的手段（3）ロードプライシングおよびデポジット制度など（テ4章）
- 11月30日：経済活動の環境への影響（1）企業の社会的責任と環境経営（テ10章）
- 12月7日：経済活動の環境への影響（2）消費者および需要サイドからの対応（テ10章）
- 12月14日：経済活動の環境への影響（3）金融機関の環境対応（テ10章）
- 12月21日：後期授業内容の確認と質疑応答

テ = テキスト（『テキストブック 環境と公害：経済至上主義から命を育む経済へ』日本評論社）

### ○成績評価の方法

学年末試験（一切持ち込み不可）、夏休みの自主レポートならびに授業内に行う小テスト（前後期計 6 回程度）で総合評価する。小テストを 2 回以上受験していない学生には、学年末試験の受験資格を与えない（つまり受けても 50 点未満）ので注意すること。なお、小テストの実施日は原則、告知しない。

### ○昨年度の成績評価結果

登録者数：298 人

定期試験受験者：245 人（A：22 人、B：103 人、C：77 人、不合格：43 人）

追試受験者：0 人、特別試験受験者：1 人

平均点：57.5 点

名目合格率(合格者/履修登録者数) 67.8%

実質合格率(合格者/定期試験受験者) 82.4%

### ○教科書

泉留維・室田武・三俣学・和田喜彦『テキストブック 環境と公害：経済至上主義から命を育む経済へ』日本評論社（定価 2600 円）

毎回、講義ノートを配布し、必要に応じてビデオなどを用意する。

### ○参考書

植田和弘『環境経済学』岩波書店（1996 年）

細田衛士『グッズとバズズの経済学』東洋経済新報社（1999 年）

室田武『物質循環のエコロジー』晃洋書房（2001 年）

### ○受講前提条件・関連科目

新聞・雑誌・テレビ等の環境問題についての報道に注目すること。授業中の私語は厳禁。私語がひどい学生は退席を命じられることもある。

☆講義ノートに関しては、すでに終了している講義分について専修大学・RENANDI 統合 e ラーニングシステムに逐次アップする（5 月中旬頃からダウンロード可能予定）。

<https://renandi.ss.senshu-u.ac.jp/renandi/session.do>

→ログインするには、情報機器室のパソコンにログインするものと同じ、ID とパスワードを打ち込む

わが国の社会経済とくらしの変遷

	世の中の動き	日常生活の変化	
高度経済成長長期…物の豊かさの追求へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高度経済成長へ</li> <li>(S30) イタイイタイ病(神通川流域)発生</li> <li>(S31) 経済白書「もはや戦後ではない」</li> <li>(S31) 水俣病発生</li> <li>(S35) 国民所得倍増計画スタート</li> <li>● 公害問題の提起</li> <li>(S35) 四日市公害深刻化(ぜんそく等)</li> <li>(S37) 1週間のスモッグ発生(東京)</li> <li>(S37) レイチェル・カーソン「沈黙の春」</li> <li>(S37) 全国総合開発計画</li> <li>(S39) 東京オリンピック開催</li> <li>(S40) 第二水俣病発生(阿賀野川流域)</li> <li>(S42) 公害対策基本法の成立</li> <li>(S42) 新潟水俣病訴訟、四日市公害訴訟</li> <li>(S44) 人類初の月面着陸</li> <li>(S45) 大阪万博博覧会開催</li> <li>(S45) 光化学スモッグ被害東京で頻発、ばいじん、SOx大気汚染発生</li> <li>(S45) 第64回国会(公害国会)で14の公害関連法案可決</li> <li>(S46) 環境庁発足</li> <li>(S47) ローマクラブ「成長の限界」</li> <li>(S47) 国連人間環境会議が人間環境宣言、国連環境計画設立</li> <li>(S47) 日本列島改造論発表</li> </ul>	<p>神武景気 S29-S32</p> <p>岩戸景気 S33-S36 オリンピック景気 S37-S39</p> <p>いざなぎ景気 S41~45</p> <p>列島改造景気 S46-S48</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(S28) テレビ放送開始</li> <li>(S28) インスタント食品の登場</li> <li>【三種の神器】白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫</li> <li>(S37) 首都高速開通、「マイカー元年」</li> <li>(S37) 農業人口全労働力の3割を割る</li> <li>(S39) ティッシュペーパー発売</li> <li>(S39) 海外旅行の自由化</li> <li>(S39) 東海道新幹線開通</li> <li>(S40) 名神高速道路全線開業</li> <li>(S41) 日本の人口が1億人を突破</li> <li>(S42) 「核家族」という言葉の流行</li> <li>(S44) 冷凍冷蔵庫(2ドア)の登場</li> <li>(S44) 東名高速道路全線開通、東京-西宮間全通</li> <li>(S45) 自動販売機100万台突破</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ問題の提起、都市圏での環境問題の顕在化</li> <li>(S48) 第4次中東戦争-第1次石油危機</li> <li>(S49) フロンによるオゾン層破壊の可能性指摘</li> <li>(S53) 西淀川都市型大気複合汚染訴訟</li> <li>(S54) 第2次石油危機発生、省エネルギー法制定</li> <li>(S55) 日本の自動車生産台数世界一に</li> <li>(S55) 米初のスペースシャトル打ち上げ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(S49) コンビニエンスストア第1号店開店</li> <li>(S50) 山陽新幹線(岡山-博多)開業</li> <li>(S54) 「省エネ・ルック」の流行</li> <li>(S57) ペットボトル登場</li> <li>(S57) 東北、上越新幹線開通</li> <li>(S58) 「ワンルームマンション」という言葉の流行</li> <li>(S59) 平均寿命が男女共世界一に</li> </ul>
安定成長長期…物の豊かさから利便性の追求へ			
グローバル化が進展した時期…地球環境問題の顕在化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(S60) 男女雇用機会均等法</li> <li>(S60) つくば科学万博開催</li> <li>● 地球環境問題への意識の高まり</li> <li>(S60) オゾン層保護のためのウィーン条約採択</li> <li>(S61) チェルノブイリ原発事故発生</li> <li>(S62) モントリオール議定書採択</li> <li>(S63) 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)設立</li> <li>(H元) ハルディーズ号油流出事故</li> <li>(H2) 廃棄物最終処分場の残余年数(産業:7.6年、一般:1.7年)</li> <li>● 持続可能な発展に向けた政策の進展</li> <li>(H4) 地球サミット開催</li> <li>(H4) バゼル条約発効</li> <li>(H4) 生物多様性条約採択</li> <li>(H5) 環境基本法制定</li> <li>(H6) WTO発足</li> <li>(H8) ISO14001制定・発行</li> <li>(H9) 京都議定書を採択(COP3)</li> <li>(H9) ナホトカ号重油流出事件</li> <li>(H10) 地球温暖化対策推進法制定</li> <li>(H10) GNP世界2位に</li> <li>(H12) 循環型社会形成推進基本法制定、第二次環境基本計画閣議決定</li> <li>世界人口60億人突破</li> <li>(H14) 京都議定書を批准</li> </ul>	<p>バブル景気 S61-H3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(S61) 「レンズ付フィルム」の登場</li> <li>(S62) 携帯電話サービスの開始</li> <li>(S62) 「DINKS」という言葉の流行</li> <li>(S63) 青函トンネル開通・瀬戸大橋完成</li> <li>(H元) 消費税(3%)導入</li> <li>(H元) 日本でインターネット運用開始</li> <li>(H元) エコマークの登場</li> <li>(H2) 海外旅行者数、年間1,000万人を突破</li> <li>(H3) 牛肉・オレンジ輸入自由化</li> <li>(H4) 週休2日制度の定着、学校週5日制スタート</li> <li>(H5) 冷夏による農作物の大凶作</li> <li>(H5) コンビニが4万店を越す</li> <li>(H6) 猛暑による水不足</li> <li>(H6) 住宅用太陽光発電システム補助事業が開始</li> <li>(H7) 一人暮らし世帯が全世帯の25%に</li> <li>(H9) 消費税率5%に引上げ</li> <li>(H12) パソコンを利用する世帯が50%を超える</li> <li>(H13) インターネットを利用する世帯が50%を超える</li> <li>(H14) 携帯電話利用者が国民の50%を超える</li> </ul>

資料：環境省

環境問題は、その国の豊かさ（経済規模・人口・個人の生活水準・平均余命など）の進捗と相まって、新しい性質をもった環境問題（ゴミ問題・自動車問題・温暖化問題など）が発生するが・・・しかしながら「公害」問題はまだ決して過去の問題ではない。